

音声認識システム topSPEECH-Lydia (トップスピーチ リディア) を 10 月から販売開始。音声登録が不要、しかも高い認識率。

自動認識システムのアイニックス株式会社（東京都目黒区大橋 1-6-2 電話 03-5728-7500 代表取締役 平本純也）は、ドイツのシステム開発会社であるトップシステム社（topsystem Systemhaus GmbH、Monnetstrase 24, Wuerselen, Germany）と販売代理店契約を締結し、音声認識システム topSPEECH-Lydia (トップスピーチ リディア) を 10 月から販売開始します。アイニックスは、バーコード・RFID を利用した自動認識ソリューション会社で、自動認識システム、および、倉庫管理や検品などの物流システムを開発しています。トップシステム社は、1995 年に設立、2000 年にドイツ初の音声ピッキングシステムを開発しました。そして、現在、欧州のリーディング企業として高いシェアを持ち、米国、英国の現地法人（top-VOX Corp.）と中国事務所を持っています。

音声認識は、自動翻訳や会議録作成などフリーワードで認識するシステムとカーナビゲーションなどのように予め設定された固定ワードを認識するシステムがあります。トップスピーチ リディアは、後者の固定ワードを認識するシステムで、物流業務、生産管理業務、点検監視業務などに最適です。

作業者は、音声指示に対して音声で返答をしながら作業を進めます。例えば、音声ピッキング（棚出し）では、棚番の指示に対して棚に表示されたチェック番号を返答し、正しい棚かどうかを確認します。次に、出荷数量の指示に対しては、実際の出荷数量を返答します。音声ピッキングは、両手が使用できると共に、ピッキングリストをチェックしたり、出荷指示画面を見たり、バーコードをスキャンすることがないために、バーコードハンディターミナルを使用したピッキングに比べ商品特性にもよりますが 10%以上の物流効率の改善が可能です。更に、キーボードや液晶画面が使用できない冷凍庫では、極めて有効です。

トップスピーチ リディアは、話者登録をせずに使用できる不特定話者方式を採用していますので、作業者の変更が頻繁にある物流現場に最適です。音声認識は、数字の他に、“OK”、“作業開始”、“もう一度”など、シンプルな音声に限定することにより、97%以上の高い認識率を確保しています。また、20ヶ国以上の国と地域の言語に対応していますので、同じ現場で作業者に合わせた言語を使用することができます。また、音声指示は、機械音声ではなく、録音した自然音声を使用していますので、聞き易く、長時間の運用による疲労を最小化できます。

トップスピーチ リディアは、音声専用ターミナル VOXter（ボクスター）を使用します。ボクスターは、厳しい物流現場や製造現場に合わせて堅牢な設計になっており、また、最大 14 時間運用できる大容量バッテリーを搭載しています。更に、-30 の冷凍庫でも使用できるように設計されています。トップスピーチ リディアは、Windows CE または Windows Mobile 搭載であれば、ボクスター以外のモバイルターミナルを使用することが可能です。したがって、バーコードを使用する業務と音声認識を使用する業務を併用することもできます。

News Release

音声認識システム「トップスピーチ リディア」は、物流管理、生産管理、保全管理など、幅広く使用できますが、アイニックスは、当面、音声ピッキングに絞ってシステム提案を行ってまいります。具体的には、同社の検品システム POT Check (ポットチェック) にトップスピーチ リディアを搭載した音声ピッキングシステム POT Check Voice (ポットチェックボイス) を開発し、パッケージ販売を行います。ポットチェックボイスは、在庫管理や棚卸しなどのマネージメント機能を持たず、音声ピッキングのみのシンプルなシステムです。上位の WMS (倉庫管理システム) や ERP (基幹システム) からピッキング指示データを受け取り、ピッキング完了後に、ピッキング結果を上位に戻します。

音声ピッキングシステム POT Check Voice (ポットチェックボイス) の参考価格は、音声ターミナル 10 台の場合、約 800 万円 (消費税別) です。これ以外に、サーバ機器、無線 LAN 機器、カスタマイズ費、導入設置費、コンサル費等が必要です。そして、ポットチェックボイス、及び、トップスピーチリディアを使用した受託システムについて、初年度 10 システムの販売を予定しています。



音声ターミナル VOXter